

農協と組合員をつなぐ広報誌

なみしんぼ



天気にも恵まれた5月20日、菊水町内会で「花見」が開催されました。

桜の花が散り始めたものの「花より団子」、たくさんの肉が用意され舌鼓を打ち、交流を深めました。



JA中春別

6月号

2016 Vol. 461

乳価の仕組みをわかりやすく 教えていただきました

青年部・女性部乳価勉強会

指定生乳生産者団体(指定団体)制度の仕組みを学ぶため、女性部・青年部合同で、ホクレンの山本酪農課長を招き5月16日(月)に乳価についての勉強会を行いました。
今回の勉強会では、生産者から



ホクレン山本課長

消費者に届くまでの工程や、搾った生乳が乳価として生産者に戻るまでの制度や仕組みについて教えていただきました。指定生乳生産者団体(指定団体)制度の仕組みとは、乳業メーカーとの交渉をし、集乳の効率化を図る制度であることや、都府県の各乳業メーカーの工場へ配送するには『ほくれん丸』というフェリーに乗って運ばれることなど、経営者だけではなく奥様方や若い後継者の方たちにも改めてわかりやすく説明をしていただきました。

説明をしていただいた後は質疑応答にはいり、疑問点を質問するなど活発な勉強会となりました。
女性部は勉強会後に懇談会を開催し、今年度の活動についてなどの意見を交換しました。



みなさん真剣です

ハッカ油で涼しく過ごす

ハッカ油活用品作成・よもぎ白玉試作品作り



作りながら会話もはずみます♪



女性部では5月11日(水)にハッカ油活用品作成と、今年の乳牛共進会で配布をする『よもぎ白玉』の試作品作りを行いました。昔から虫除けとして使われているハッカ油を活用するため、軟こう・スプレー・紙おしぼりの3種類を作りました。

作る工程としては、混ぜる作業がほとんどだったためか手軽につくれたようで、材料もそれほど高くなかったため「紙おしぼりとスプレーはつけた後に風にあたるとヒヤッとして涼しい!」しかも虫除けにもなるならこれからの時期にピッタリ!「ハッカの匂いですっきりした気分になるからオススメしたいね!」という声があがり、今年の夏は虫刺されを少なく、涼しく過ごせることを期待しているようでした。

ハッカ油活用品作りの後には『よもぎ白玉』の試作品作りが行われ、お汁粉、みたらし、練乳がけの3種類を試作しました。よもぎの香りと白玉のもちもちとした食感が、たまらなくおいしいう逸品となりました。



手際良く作っていきます

ガーデンアレンジに挑戦！ きれいな花壇が完成しました

ハートフラワーチャリーの篠田夫妻を講師にお呼びして、寄せ植え講習会と農協前花壇の花植えを5月25日(水)に開催しました。朝から雨がしつとりと降っており



たくさんある花から好きな物を選びます

昼からの作業は危ぶまれましたが、雨も上がり花壇もさほど濡れていなかったため無事開催することができました。今年は鉢への寄せ植えだけではなく、農協の花壇を使用し、ガーデンアレンジも教えていただきました。「鉢に寄せ植えを作る場合立っ・這う・広がる花を組み合わせることによって立体的に仕上がりが美



私はこれがお気に入り♪

しくなります。植えた花を元気にするために、やせた土地にしないよ

うに腐葉土と培養土を適度に混ぜ、肥料もちの良い土にすることが大切です。日本の雨は酸性で植物はほとんどが弱酸性か中性です。腐葉土・培養土などを混ぜることによって、土が弱酸性に近づき花に良い環境となります」と教えていただき、それぞれが自分の好きな花・ハーブを組み合わせていきました。いろいろな形、大きさの花があり、参加者の皆さんはどれにしようか迷いながらも鉢をいっぱい使って豪華に仕上げたり、控えめで美しく仕上げる人もいて、1人ひとりのこだわりあふれる作品がたくさんできあがりました。ガーデンアレンジはスタンド側の小さな花壇を使い、車から見ることで車の窓を開けて走ることを見想定し奥側を高い花、手前側に低い花を植え、ふわりと良い匂いのする花もあわせて使うことによって、とても綺麗な花壇にすることがで

寄せ植え講習会・農協前花壇花植え

きました。寄せ植え後の花壇花植えはチャリーさんに教わったことを生かし、綺麗に配置にすることができました。農協にお立ち寄りの際やはずひ花壇を注目してご覧ください。これからの季節、ミルク王国のアイスを食べながら花壇を楽しむのも良いかもしれないですね。



花が霞んでしまうほどの笑顔です

白熱した試合となりました

JA根室地区女性協フレッシュミズ交流会



ファインプレーも飛び出します！

「上手だね、バレーやったの？」など声の掛け合いなどが会話のきっかけになっており、時間が経つにつれてチームの団結力も上がり接戦が続く試合もとても楽しんでいたようでした。



運動した後はお肉がおいしい！

交流会後の焼肉では、ミニバレーで仲良くなった人たちが座っているテーブルもあり、子育てや家庭のことなどで意気投合し仲が深まったようでした。

他の地区の育成預託センターを勉強したい

青年部管内視察研修

青年部会(柿本竜矢部会長)では、若手青年部員の知識向上及び部員間交流を目的としてJA道東あさひ別海哺育・育成預託センターへの視察研修を5月23日(月)行いま



した。当日はJA道東あさひ別海哺育・育成預託センターの大石場長に対応していただきました。

JA道東あさひ別海哺育・育成預託センターを視察

JA道東あさひ別海哺育・育成預託センターでは、生後3日目から健康の基準をクリアした場合は受け入れが可能ですが、サルモネラの検査を受け、陰性と判定される最低6日目までは、隔離舎に置かれます。その後、3日〜2カ月齢までの哺育舎(60頭収容)では哺乳ロボットで哺乳量を管理していました。

育成舎が3つに分かれており、育成舎Aは3〜8カ月齢(130頭収容)で入った翌日には除角が行われます。育成舎Bは8〜11カ月齢(110頭収容)、最後の育成舎Cでは12〜16カ月齢(120頭収容)で発情状態を牛歩のデータと従業員の観察で行っていて、妊娠鑑定を授精後の40日、60日と預け先農家へ帰る前日の3回実



普段見る事のできない施設に部員も絶えず質問し大石場長にわかりやすく説明をしていただきました。

施しているのと丁寧に説明を聞き給与している飼料の事や繁殖についての質問し、有意義な視察研修となりました。

青年部、農協職員との交流会

青年部(兼松真武部長)では、地区が異なると接する機会もなかなか少ない若手酪農家のネットワークづくり、農協職員との繋がりを持ち今後の営農に役立ててもらえるように、5月21日(土)新入部員・青年部員・JA職員の交流会を別海コミュニティセンターで行いました。

集まった部員と職員たち21名は、焼肉を囲みながら「今年の草は何日から始まりそう?」と仕事の情報交換や「休みは何して遊んでるの?」などとプライベートな話にも花が咲き、部員間や農協職員との交流を深めていました。



美味しい焼肉を囲んで会話も弾み交流を深めました

担い手育成支援強化と 多面的機能の維持発展を図る

平成27年度中春別サブ集落総会が5月6日(金)開催されました。

来賓の小湊組合長挨拶の後、議案に入り、第1号議案から第3号議案まで可決承認されました。

第4期中山間事業が27年よりスタートし3期からの継続的事業を中心に取り組みを展開して参りました。



した。

28年度については、今後も継続的な事業と地域活性化を図るため担い手育成支援強化など、農業農村のもつ多面的機能の維持発展を図り協定者の皆様に理解していただけるように取り組んで参ります。

今年度の新たな取り組みとしては、農作業安全対策として車載用の消火器の配布。また生産性向上対策としてトラクターにGPS装置の取り付けへ助成を行う事となりました。

なお、平成28年度中春別サブ集落新役員については、以下の通りと



サブ集落
総会

なっております。

- | | |
|------|-------|
| 集落長 | 遠藤 均 |
| 副集落長 | 柿本 鶴雄 |
| 会 計 | 石森 裕治 |
| 監 事 | 長野 清志 |
| 幹 事 | 北澤光太郎 |
| 〃 | 小湊 均 |
| 〃 | 望月 英彦 |
| 〃 | 山崎 浩二 |
| 〃 | 中村 貞志 |
| 〃 | 篠田 翔司 |
| 〃 | 売場 純 |

JA中春別酪農 ヘルパー利用組合 第24回 定期総会

サービスの向上と さらなる充実を目指して

4月22日(金)、第24回JA中春別酪農ヘルパー利用組合定期総会が開催されました。

総会に先立ち永年勤続表彰が行なわれ、富永実職員(勤続20年)、安



江ふみ職員(勤続10年)が表彰されました。

開会にあたり高田嘉秋組合長より挨拶が述べられ、来賓を代表し中春別酪農協同組合・小湊保代表理事組合長より祝辞をいただきました。

引き続き石森裕治氏を議長として議事に入り、第1号議案「平成27年度事業報告及び決算報告書の承認」、第2号議案「平成28年度事業計画(案)及び収支予算(案)」、第3号議案「賦課金の賦課及び徴収方法、並びに利



用料金について」、第4号議案「役員改選について」、以上4議案が審議され、全て可決承認されました。

なお、新役員は次の通りとなっております。

- | | |
|-------|----------|
| 組 合 長 | 高田 嘉秋 |
| 副組合長 | 根本 春男 |
| 副組合長 | 兼松 真武 |
| 理 事 | 柿本 鶴雄 |
| 理 事 | 関矢 泰朗 |
| 理 事 | 眞下 雅人(新) |
| 代表監事 | 佐藤 孝徳 |
| 監 事 | 森田 哲司 |
| 監 事 | 高野 孝太 |

「別海北部地区環境保全」
推進協議会」総会

環境を守るためのリサイクル 太陽光発電の取り組み

国営環境保全型かんがい排水事業



別海北部地区環境保全推進協議会(小野榮一会長)では、5月17日(火)農業者団地センターにおいて通常総会が開催されました。

当日は各ブロック理事及び釧路開発建設部、別海町役場より多数の出席者の中開催され、上春別ブロックの羽石理事が議長にあたり全議案可決承認されました。釧路開発建設部からは昨年までの事業進捗状況、平成28年度における事業実施内容および肥培かんがい施設管理マニュアルについての説明がされ、別海町役場から太陽光発電の取り組みについて説明がされました。平成28年度の新役員構成は次の通りです。

会 長	小野 榮一(中春別)
副会長	橋本 明雄(上春別北)
副会長	中垣 博志(本別)
理 事	伊藤 一吉(豊原)
理 事	加藤 真純(美原)
理 事	坂野下貴志(別海)
理 事	羽石 健一(上春別南)
理 事	多田 稔(西春別)
理 事	石毛 剛(計根別)



草地に消化液を試験的に散布しました

本年度からJAの取り組みとして、別海バイオガス発電棟より生産される消化液の試験を開始いたしました。消化液の特徴としてはスラリーに比べて臭いが少なく低粘土であり、高温発酵(50~60℃)により消化液中の雑草種子病原菌が死滅していることが大きな特徴であります。今後、消化液の肥料効果や草地の植生維持効果、サイレージ品質について試験を行なうこととしており、くみあいだよりに試験の進捗状況を掲載していきます。

今回は、春の消化液散布の実施に



スラリーに比べて臭いが少なく低粘土



消化液散布後

ついて掲載をいたします。

肥料散布を終えた5月9日に草地に消化液を散布いたしました。散布速度は時速10kmで、散布量については10a当り1.4tを散布いたしました。今後は消化液を散布した草地と散布しない草地の牧草の生育状況を調査していきます。



消化液散布後2週間(写真右側へ消化液散布)

根室ブラックアンドホワイトシヨウ

熱きシヨウリングが今年も開幕!



中標津町ホクレン根室地区家畜市場において、平成28年根室ブラックアンドホワイトシヨウが5月22日(日)に行われました。審査員は上士幌町酪農家の吉田智貴

氏があたり、総出品頭数は71頭、当同志会から5戸7頭が出品されました。各部ハイレベルな戦いが繰り広げられた中、グラントチャンピオンにはJA道

東あさひ別海、丹羽博文さん出品の「フアインクレスト ゴールデンパラダイス E T号」、リザーブグラントチャンピオンにはJA道東あさひ根室、(有)武隈牧場出品の「エクセルランドポータージ ファイバー号」が輝きました。当中春別ホルスタインの成績は、1部で山田博和さん出品の「YMD ロクセツト アツトウツド ビル E T号」が1位となり、8部では



宗像卓朗さん出品の「セイコー ロクセツト スタンドアウト号」が1位を獲得し、リザーブチャンピオンにも輝きました。また、同志会対抗戦においても3位に入るなど、中春別ホルスタインのレベルの高さをアピールできました。日頃より手塩をかけた育て上げてきた牛達が一堂に会し、いよいよ今シーズンのシヨウも開幕しました。

2016根室ブラックアンドホワイトシヨウ結果

部	名	号	生年月日	父牛名号	出品者
GC	フアインクレスト	ゴールデン パラダイス ET	H23.4.18	レーガंकレスト エルトン ダーハム ET	道東あさひ別海 丹羽 博文
RGC	エクセルランド	ポータージ ファイバー	H24.9.12	クラツクホーム ファイバー ET	道東あさひ根室 (有)武隈牧場
SC	フアインクレスト	ゴールデン パラダイス ET	H23.4.18	レーガंकレスト エルトン ダーハム ET	道東あさひ別海 丹羽 博文
RSC	グローリーランド	カードア エルトン ウイン	H23.4.12	ブレイデール ゴールドウイン	道東あさひ別海 酒井 保幸
IMC	エクセルランド	ポータージ ファイバー	H24.9.12	クラツクホーム ファイバー ET	道東あさひ別海 (有)武隈牧場
RIMC	セイコー	ロクセツト スタンドアウト	H25.12.30	レーガंकレスト S ブラクストン ET	中春別 宗像 卓朗
JC	シヨウニー	ブロー シアニア	H27.3.22	ミスター アツトウツド プロカウ ET	中標津 中川 将
RJC	スターフィールド	ヒンペル トリプル デューク	H27.6.8	リル ドルー デンプシー	道東あさひ別海 菊地 正明

中春別ホルスタイン結果

部	順位	名	号	生年月日	父牛名号	出品者
1	1	YMD	ロクセツト アツトウツド ビル ET	H27.9.13	メープルダウンスアイ G W アツトウツド ET	山田 博和
2	3	フイーンランド	エナジー SB レジナルド	H27.8.22	レーガंकレストデーエル レジナルド ET	竹田 潤
3	2	プロミネンス	ビューテール GC シヤイン	H27.3.22	ミスター チャシティー ゴールド チツブ ET	寺澤 佳吾
3	15	フェブラリー	ジュピター RED	H27.4.2	ストーン ファインリー バーンズ ET	佐々木靖裕
3	16	ソーンリー	ランソム フロイド	H27.4.3	キングスランソム T ドミンゴ ET	佐々木靖裕
8	2	プロミネンス	パラゴン クリステイーナ アイオーン	H25.12.14	ミッドフィールド CCM アイオーン	寺澤 佳吾
8	1(BU)	セイコー	ロクセツト スタンドアウト	H25.12.30	レーガंकレスト S ブラクストン ET	宗像 卓朗

最新の酪農設備に触れ、 有意義な意見交換

最新の酪農設備を視察しました



酪農視察講習会 別海町上風連地区早坂操牧場



搾乳中は静かで牛も落ち着いていました



新築フリーストール牛舎



早坂さんに丁寧に説明していただきました

中春別乳牛改良同志会では乳牛の飼養管理技術及び乳牛施設などの視察を通じ、より一層知識を深め酪農経営の更なる発展を目的として4月25日(月)別海町上風連地区早坂操牧場を視察しました。

早坂牧場は昨年12月に新築フリーストール牛舎が完成し、現在搾乳ロボット2機を使用しています。搾乳中はたいへん静かで牛も落ち着いているのが印象的でした。対応して頂いた早坂一彦さんは「最初導入についてはかなり悩んだが、近くの牧場で実際に稼働しているのを見て、搾乳ロボットの導入は1つの選択肢になった。実際に稼働すると本牛舎はほぼ1人で回すことができ、時間的余裕が生まれるようになった」とおっしゃっていました。

最新の乳牛管理施設、搾乳機器を目の当たりにし実際に使用している早坂さんと意見交換ができ、たいへん有意義な視察講習会になったと思います。

中春別乳牛改良同志会
女性視察研修会



同じ”飲料”の生産ラインを学び、 日々の疲れをリフレッシュ!

竹田真由美

4月21日(木)から乳牛改良同志会の女性視察研修に参加してきました。

天候は晴れ、風はありましたが、大きく揺れることなく快適なフライトで新千歳空港に到着すると、最高気温20℃の暖かさで気候に恵まれたスタートとなりました。

今年の視察研修はキリンビール株式会社北海道千歳

工場の見学。キリン一番搾りの原材料へのこだわり、一番搾り製法の説明などを聞きながら仕込からパッケージングまでを見学しました。

実際に原料となる麦芽とホップは自由に触れることができ、試食用の麦芽を味わうと、カリッと香ばしく嚼めば嚼むほど甘みが増して、品質の確かさを感じました。また、この日は普段あ

まり稼働していないという瓶ビールのラインが動いていて、栓をした後、瓶の中を透かして人の目視によつてしっかりと検査される様子なども見る事ができました。

一番搾り麦汁と二番搾り麦汁の飲み比べのコーナーでは、某人気アイドルグループのA葉くんも体験した、一番搾り麦汁の衝撃的な甘さと同じように体験でき、とても楽しい工場見学でした。

さて、その後はお待ちかねの試飲コーナーへとバス移動。一番搾りをはじめ、期間限定販売のオーガニックの原料を使用したビールや、発泡酒、ソフトドリンクなど数種

類の中から、1人3杯まで試飲OKということでした。皆さん大変気合が入りました。ビール酵母を使用したチーズ味の柿の種をおつまみに、工場で作った一番搾りの味は格別でした。試飲しながら、ビールをおいしく味わうことができる「3度つき」の方法を教えてくださいました。

①まず、きれいなグラスに適温(夏6〜8℃・冬10〜12℃)に冷えたビールを始めはゆつくりと、途中から勢いよく泡をたてて注いでください。このときグラスの中は殆ど泡でいっぱいです。

②ビールと泡の割合が5…5になるまでじつと待ち、5…5の割合になったら2度目を注ぎます。グラスの上、ふちのぎりぎりまで注いでください。

③ビールと泡の割合が6…4になったら、最後の3度目を注ぎます。泡をコップの上から1.5cmほど盛り上げます。泡が細かいクリーム状になれば大成功です。

是非、ご家庭でもやってみてください。

キリンビールには、代々

受け継がれる醸造の哲学。醸造フィロソフィー。があります。

「ビールづくりは、生命体との対話である。自然に敬意を払い、素材のうまさを活かす。それが難しさであり、奥深さである。」

「ビールづくりは、芸術である。」数字や計算だけではおもしろくない。感性が必要である。(簡略して紹介)

ビールと生乳という違いはありますが、生産に携わるものとして通じるものがあるのではないかと思います。わたしたちもフィロソフィーをもつて、日々生乳の生産に取り組んでいきたいと感じました。

札幌市内に移動してからは、各々、ご家族やお友達と会ったり、ショッピングを楽しんだり、日ごろの疲れを癒し、リフレッシュできました。夜の会食も大変盛り上がり、親睦を深めることができました。このように楽しい研修を企画してくださった同志会の皆様に感謝しています。ありがとうございました。

大空を自由自在に コントローラーできたら最高

「48歳の時に息子の貞志に経営移譲したが、それまで営農でいろいろ苦労して趣味を楽しんだり、もつ暇もなかったんだ」と話す与之進さん。1年程息子さんの手伝いをしていた時、茨城に住んでいる弟さんがパラグライダーをやっているのを見て、「兄貴も趣味でやってみないか？」と誘われ、専門誌を送ってきたのが始まり。小さい頃から空への憧れも

あった与之進さん、専門誌を見て「俄然やる気がでた！」と早速、十勝池田へパラグライダーを習いに半月程、民宿に泊まり基本を習得。その後、北見へ通って指導してもらうと、みるみる間に腕をあげ、2年目には『技能証』を獲得。どんどん夢中になつていき、モーターパラグライダーにも挑戦！ 250ccのエンジンを付け大空へと舞いあがりました。空の



自慢の愛機を前にコントローラーを持つ与之進さん



モーターパラグライダーで空中散歩

上から見る景色は素晴らしく、丹頂鶴を下に見たり鷹を見つけては近くへ寄って驚かしたり、一番高く飛んだ時で地上から750mまで上がり、「まるで1枚の写真を見ているようだった」と鳥人間のようには大空を闊歩。小さなカメラをもって豊原



自宅近くを空の上からパチリと撮影

地区の航空写真を撮り、豊原一円を飛行して楽しみました。また、ハングライダーにも挑戦し、結氷した風連湖へスキーをはいて離陸し、ワカサギ釣りを楽しむ人を眼下に見て槍ヶ岳地区まで行き30分程して戻ってきて滑り込むようにスキ

ーで着陸、何とも言えない達成感と爽快感だったのですが、10年程続いていたのですが、だんだんと熱が冷めてきた時に、隣に住む高田珠夫さんに船釣りに誘われ、尾岱沼港から釣船で出航、野付半島へ。初めての船釣りで60cmのゴソカレイがかり、強烈な引きに、竿が引き込まれそうになるのを堪えて何とか釣りあげ、それで「すつかりはまってしまった」と。その後、何度か釣船に誘ってもらって通つたのですが、ただ船酔いが酷く、家への帰り道も休み休み車を運転する程。それならボートを買って「自分で運転するなら酔わないだろう」と小さめのボートを購入。酔いもそれ

程酷くないので、もつと大きい5人乗りのボートに入れ替える熱の入れよう。風連湖のカレイ釣りから屈斜路湖のチツプ釣りへ、釣った魚を近所へおすそ分けしたり、薫製づくりにもひと工夫して「納得の薫製」もできるようになりましたが、6年程で何となく飽きがきてしまい、本人曰く「熱しやすく、冷めやすいんだ」と釣りを辞めてしまいました。

今、夢中になっているのは昨年8月頃から始めた「ラジコン」。「俺は空ものがやっぱり好きなんだ」と与之進さん。キッドを購入し自分で組み立て、完成した機を前庭から離陸させ大空へ。「自分の思うように自由自在にコントロールして無事着陸させる、その充実感が堪らない」と相手を崩されませんでした。現在所有している愛機は完成1機、メンテナンス中1機、墜落して欠損箇所を修理中が1機。まだまだ空への憧れと愛着心が一杯の中村与之進さんでした。

快く取材に応じていただきました。ありがとうございました。

町も心もすっきり！ 申春別の町がきれいになりました



子供たちも笑顔でゴミ拾いに出発



春別川クリーン作戦

申春別小学校・中学校による「春別川クリーン作戦」が5月10日(火)開催され、今年も昨年同様、農協青年部、女性部、農協職員合同でゴミ拾いをしました。
当日は小学生96人、中学生57人、先生方36人、青年部員10人、女性部員13人、農協職員6人が小学校グラウンドに集まり兼松青年部部長の挨拶でスタートしました。

AとD班に分かれさらに8班体制になり、決められたエリアを歩きながらゴミを探していると、開始直後タバコの吸殻や空き缶などのゴミが見つかり、「先生あ



大型トラックのタイヤまで捨てられていました

ったよー！」と嬉しそうにゴミ拾いをしました。
少し町外れの方へ行くとビンやプラスチックの破片、煙突などの不法投棄物も見つかり、「こんな大きなゴミ持てないよ」と小学生、「持つてあげるよ」と優しく声をかける農協職員や青年部、女性部たち。たくさんゴミを拾い重たい袋を協力して一緒に持つなど交流の輪も広がりました。

学校に戻ると空だった袋にはたくさんゴミが入り、全体で集めたゴミの量は45

りのゴミ袋8袋分も拾うことができました。

「協力してゴミを拾っていたので良かったと思います」AとD班の班長さん、「この町をキレイにするという努力を見られたので良かったです」と中学生から報告がされました。「みなさんのおかげで町がとてきれいになりました。来年も頑張りますよ」と齋藤女性部長が挨拶をし、春別川クリーン作戦が無事終わりました。参加された皆さまお疲れ様でした。



みなさんの協力でこんなにたくさんのゴミが集められました

ポイントを押さえた 乳房炎対策を

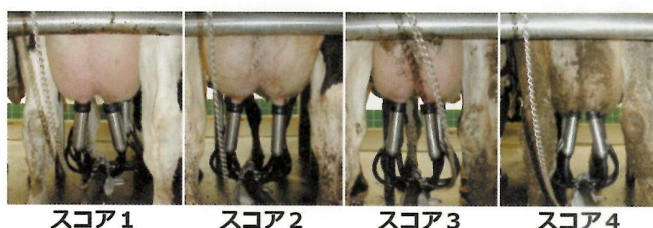
乳房炎は、乳牛の生産性の低下だけでなく、経済的損失や作業者の精神的ストレスにも繋がります。限られた労働力や作業環境のなかで乳房炎を予防するためには、主に右の3つのポイントが大切になります。

今月号では「環境」について取り上げます。乳牛をとりまく「環境（糞尿など）」から乳房内への細菌の侵入を防ぐためには何に気をつけるべきでしょうか。



乳房が汚れる＝乳房炎のリスク増加

乳房や肢蹄の汚れは、体細胞数と関係があるといわれています。そこで、根室管内の酪農場において、乳房の汚れスコアと体細胞数を調査しました。図1より、乳房が汚れていると体細胞数も高くなっており、牛体が汚れるほど乳房炎にかかるリスクも高くなるといえます。



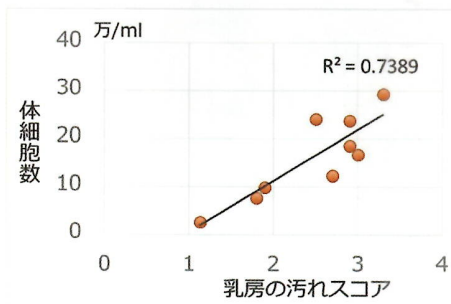
スコア1 スコア2 スコア3 スコア4

乳房が汚れる＝乳房炎のリスク増加



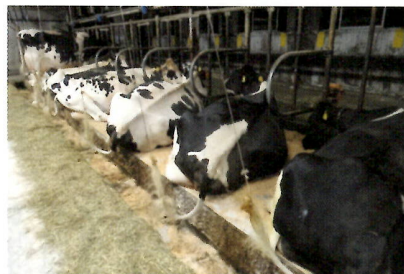
乳房の汚れは、牛体の他の部分（肢蹄や尻尾）、牛床、通路、壁、パドックや牛道のぬかるみなどから付着します。

これらの箇所を清潔にすることで、乳房が細菌にさらされる危険性が低くなります。



乳房が汚れる＝乳房炎のリスク増加

カウトレーナーの設置、敷料の投入量増加などの他に低コストでできる対策事例を紹介します。



除糞作業は最も低コストな対策です。糞かき棒を数カ所に配置し、気がついたら直ぐに除糞できるように工夫しましょう。

尻尾の汚れは乳房や乳頭に付着しやすいです。パーンクリーナーや通路の糞尿に尻尾が触れることを防ぐために、尻尾を吊ることは効果的です。

スクレーパーの稼働回数を増やすことで、通路に溜まる糞尿の量が減ります。また、スクレーパーをまわす牛の足の汚れも少なくなります。

H28年度発行の営農改善資料「乳房炎を予防しよう」に詳細を掲載しておりますので、ぜひご覧下さい。

入植当時の苦労があったから、 今の豊かな酪農郷がある

みらい塾8期生は根釧パイロットファーム開拓資料館・開拓資料室を4月27日訪問いたしました。



「冬期間は馬横に輸送缶を乗せ近くの集乳所まで牛乳を運んで行ったのさ」と青野さんからお話を聞きました



大型重機で木々を倒し、馬を使って耕す様子が映し出される



館長の青野さんから当時のお話を説明してもらいました

今回のみらい塾は根釧パイロットファームについての講座を行うということで、根釧パイロットファーム開拓資料館の館長である青野春樹さんに講師をしていただきました。

まず、旧豊原小学校の校長室に案内していただき、北海道開発局が作成した根釧パイロットファームに関する映像資料を見せていただきました。大型重機が大木を切り倒しながら開拓していく映像や馬を使って耕地を耕している映像が映され、

開拓時の苦労が伺えました。映像資料を見た後は、青野さんに

開拓当時の話をお聞きし「初めて酪農を行う人が多かったため、酪農に馴染めずに営農を辞めてしまう方もいた」との事で、皆さん協力し合って営農していたそうです。

その後、資料館に移動し、入植当時に利用していた農機具を拝見しました。現在の様に電気で動く農機具は全くなかったため、一つひとつの作業を行うのが大変だったことが伺えました。また、当時はバルククーラーもなく、生乳は牛乳輸送缶に入れて出荷していたそうであつたとの事でした。

最後に資料室に案内され、開拓当時の写真を見ました。開拓当時は様々な苦労・困難があつたようですが、写真に写っている人々は、これから自分たちで新しい時代を切り拓いていくという意欲に満ち溢れた、とても生き生きとした表情でした。その他にも資料室には根釧パイロットファーム開拓農協を設立した際の写真や、10組が合同で行った結婚式の写真など、とても興味深い写真が多く飾られています。



開拓当時の貴重な写真を見る塾生たち

した。現在の酪農は農業機械の技術進歩や、酪農に関する情報が容易に取得できるようになった事から、以前に比べると労働時間が短縮され、肉体労働も減つたために、営農がしやすくなつていきます。しかし、これもひとえに入植時代に苦労しながら試行錯誤し、大変な思いをして頑張った人たちがいたからだと思えます。根釧パイロットファーム時代に営農していた方は年を追うごとに減つていき、次の世代の方々が営農を引き継いでいますが、パイロットファーム時代の人々の事を知り、それを後世に伝えていくことは大切なことです。塾生たちも裕福な現状に感謝し、祖父母への感謝・尊敬の念を抱くとても良い機会となりました。



桜の下で楽しくお花見、 笑顔も満開!

中春別菊水町内会

挨拶を述べる高野会長

雲ひとつなく天気にも恵まれた中春別菊水町内会の「花見」。この日は今年初めてとなる夏日となりました。

牛魂碑に祈りを捧げた後、高野菊水町内会長の挨拶で花見が始まりました。

菊水地域会館の小高い丘に桜の木が30本以上満開で咲いています。この桜の木は菊水小学校があつた時、当時の学校の先生が「桜の木をここに植えましょう」と発案され、地域の人たちの協力で行って桜の木を掘り起こし移植されたそうです。

焼肉用の鉄板が5台用意され、40人程の地域の人々が参加され、焼肉や鳥串、豚串などもあり、「これ採ってきたばかりなの。みんなで食べよう!」とクレソンを持参される人も。

各テーブルでは焼肉に舌鼓を打ちながら「今年はおもうカッコウが鳴いた?」「つい前に鳴いていたから種を撒いても大丈夫だな」など、情報交換や子育ての話、地域の話題で盛り上がりました。

お腹もいっぱいになったところで、菊水町内会の「花見」が終了、最後に「6月15日に菊水町内会の神社祭があるから取材においでよ」と、嬉しいお誘いのお声をかけていただきました。



幅広い年代の人たちが集い、それぞれ花見を楽しみ地域の輪を広げました

●別海町酪農後継者を育てる会総会が終了

4月20日(水)、「別海町酪農後継者を育てる会(原井松純会長)」の総会が、役員9人が出席して本校会議室で行われました。平成27年度の事業報告や決算報告、平成28年度の事業計画、予算案について審議され承認を得ました。

参加された役員の中には、今年度から総会に出られる方もいて、育てる会が実施している事業についての説明を熱心に聞かれていました。育てる会の最初の事業は、2年生、3年生の委託実習となります。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

●【経営科】バーンミーティングに参加!

4月19日(火)、「2016年根室管内バーンミーティング」が中標津町南中のホクレン根室地区家畜市場で行われ、酪農経営科の酪農経営コース2・3年の8人が参加しました。



福屋氏による審査講習

パネラーとして家畜改良事業団より福屋茂生氏から良い牛の見方の講義を受け、その後未經産牛と経産牛の審査を実際に行い、乳牛のジャッジングを経験しました。参加した生徒は、自分の審査と審査員の考え方の違いを確認し、どの様に乳牛を見るのが良いのか熱心に講評を聴いて、乳牛審査の学習を深めました。今年は特に2頭の供試牛を用いた分かりやすい比較審査の学習も企画され、よりよい学習に役立ちました。また、リーディングの講習会も開催され、酪農家の先輩からウシとの距離の取り方、歩かせ方など基礎からしっかりと教えていただき、秋の共進会参加に向けて各々技能の向上が図られました。

●【経営科】東北道連盟総会終わる!

本校は、昨年に引き続き学校農業クラブ活動の東北道連盟会長校兼事務局校となっており、9校10クラブの農業クラブ活動をまとめていくこととなっております。



生徒会議の様子

4月26日(火)には今年度の活動計画などについて審議する代議員会が本校会議室などを会場に行われました。平成27年度の事業報告、今年度の事業計

画などについて話し合い、また学校農業クラブ活動における課題などについて話し合われました。昼食後には生徒による討論会も行われ、震災に見舞われた熊本県への支援策を検討するなど、活発な意見の交換が行われました。本校生徒も他校のクラブ員との話し合いや交流を通じて、学校農業クラブ活動についてより意欲的になっただけでなく、多くの友人を作る大変よい機会となりました。

●【経営科】野菜苗・花苗販売会を実施!

5月14日(土)、毎年恒例となった本校の「野菜苗・花苗即売会」が温室で行われました。販売実習の一環として酪農経営科の生徒1年生から3年生までの13人がお客

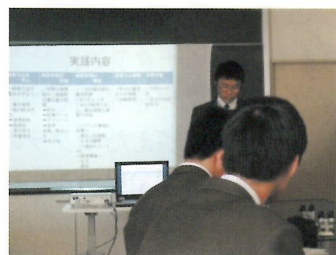


沢山のお客様が来てくれました

様の対応にあたりました。当日は晴天に恵まれ大変多くのお客様に来校していただきました。対応した本校酪農経営科の生徒たちは、「ずっとお客さんが続いて大変でした。」と言いながらも、お客様からの温かい励ましの声に支えられ、充実した表情を浮かべていました。

●【経営科】プロジェクト計画発表会を実施!

4月28日(木)には、今年度のプロジェクト活動の計画について審議する「プロジェクト計画発表会」が行われました。本校では定時制の時代より、ホームプロジェクト学習を基盤とした学習活動を実施し、今まで多くの優れた卒業生を輩出してまいりました。この計画発表会は、先輩の築いてきた伝統的なプロジェクト学習活動に加え、今日的な要素としてプレゼン



発表会の様子

テーションをとおして説明する力、計画的に準備を進める力、内容をよりよくするための意見交換や質疑応答を内容の中に盛り込みました。2年目の取り組みとなる今年は、昨年度の課題に継続的に取り組むものや、新規の研究テーマなど合計7課題が発表されました。当日は次年度への動機付けのため1年生も見学するなど充実した発表会となりました。

おじゃまします! 保健センターです



受けていますか?
歯周病検診



特に、6~10のような症状がある場合、
歯周病が進行している可能性があります。
早めに受診しましょう。

歯周病は、歯を失う原因の第1位です。
痛みなどの自覚症状がないので、気がつかないうちに
進行している恐れがあります。
また、進行すると、口の中だけでなく、糖尿病等全身
の病気を悪化させることがわかってきています。
チェックリストで、お口の健康を確認してみてください。

歯周病チェックリスト

- 1 歯磨きをすると歯肉から出血する
- 2 歯肉の色が赤い
- 3 歯肉が赤く腫れている
- 4 朝、口の中がネバネバする
- 5 口臭があるとよく言われる
- 6 歯の根が露出して歯が長く見える
- 7 歯肉がむずがゆい
- 8 硬いものをかむと痛い
- 9 歯肉からうみが出る
- 10 歯がグラグラする

別海町民の方には、10年に一度、歯周疾患検診無料受診券を送付しています。
平成28年中に、30歳・40歳・50歳・60歳・70歳になる方が対象です。
お手元に受診券がある方は、ぜひ、ご活用ください。

地道な植樹活動が桜の咲き誇る 中春別桜並木街道へ

中春別桜並木街道の歴史は30年以上前にさかのぼります。当時、サクラの木は1本も無く、地域の方々が毎年3~5本ずつ植樹をしていました。しかし、額に汗を滲ませながら植えたサクラの苗は、ねずみや鹿の食害を受け成長せずに枯れてしまうことが何年も続きました。

そこで中山間事業を活用し、平成19~21年の3カ年で中春別中学校生徒の協力を得て、150本のエゾヤマザクラの植樹を行いました。2m程だった苗木が今では4m以上に成長し、見事に桜を満開に咲かせ、現在の中春別桜並木街道となり、地域の花見スポットとなっています。

自然を親しむ会(佐々木茂成会長)では、自然と酪農、水産を守る活動が29年度で10周年を迎えるのを記念して、中春別桜並木街道で催しを行う予定です。来年の花見は是非、中春別桜並木街道に足を運んでみてはいかがでしょうか。

自然を親しむ会
10周年を記念し
来年イベントを
企画中!



小野沼公園までの街道

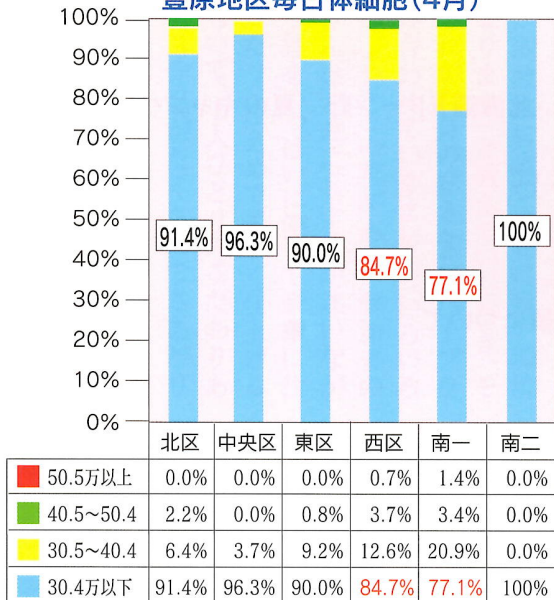


生乳汚染事故を無くそう！

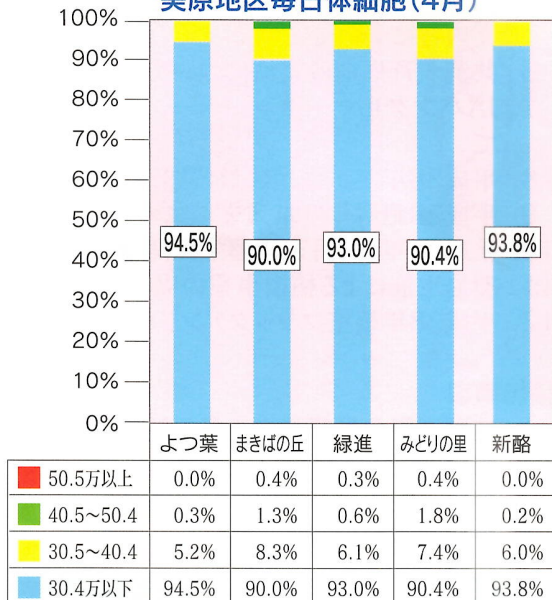
- 抗生物質混入事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では**1**件です。
- 生菌による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 異物混入(小動物)、加水、血乳による汚染事故… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 異臭、異常風味による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。

きれいな水が十分飲める環境を作りましょう。
 乳牛は1回に4~6ℓ以上の水を飲むとされています。
 これからの季節に備えて牛の体力アップが必要です。
 その為にもきれいな水と沢山の食事を与えましょう。

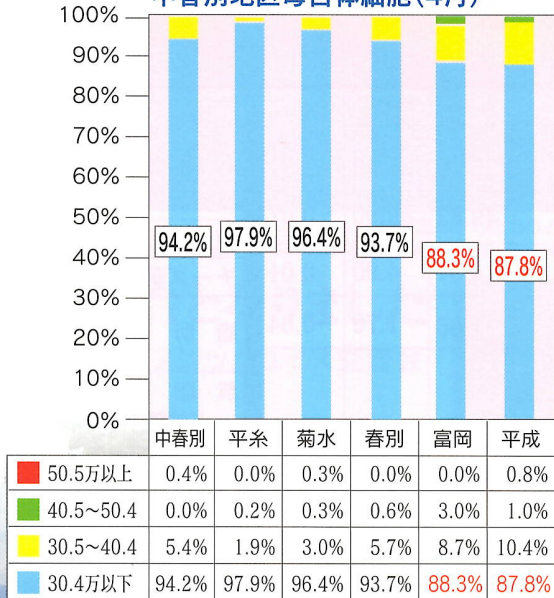
豊原地区毎日々体細胞(4月)



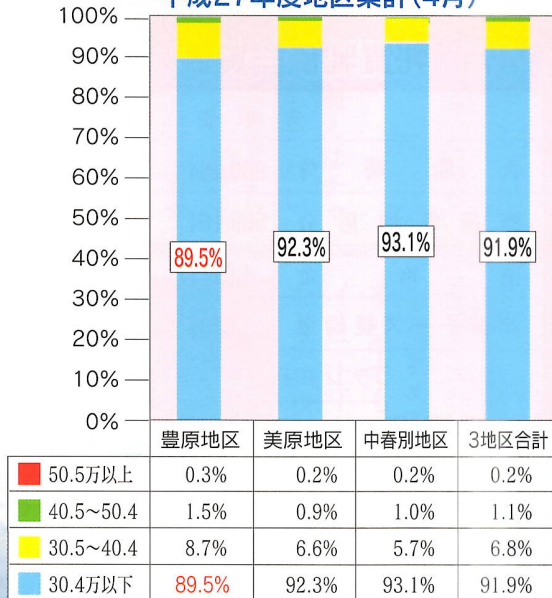
美原地区毎日々体細胞(4月)



中春別地区毎日々体細胞(4月)



平成27年度地区集計(4月)



第3回 理事会の動き

平成28年5月31日(火)

議案

1. 第42回通常総会提出議案の一部変更について
2. 平成27事業年度行政庁業務報告書の提出について
3. 平成28年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業に係る資金の借入・貸付について
4. 平成28年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業に係る機械の導入について
5. 平成28年度酪農生産基盤強化事業の実施について

報告事項

1. 組合員の加入について
2. JA全国監査機構監査について
3. 平成27年度法人税等の納付額について
4. 牛魂祭・農作業安全祈願祭について
5. 「TPPから北海道農業・地域社会及び国民の命と暮らしを守る」・「指定団体制度の機能を維持する」決議文内容について
6. 共済一斉推進の実績について
7. JAバンクサマーキャンペーン「みんなでおいしい北海道ドーン貯 夏のキャンペーン」の実施について
8. 平成28年度試採用職員の実家実習の実施について
9. 平成28肥料年度推進要領について
10. 平成28年度4月末営農生産関連実績について
11. 農協主催による植樹事業の実施について
12. 平成28年根室ブラックアンドホワイトショウの成績について

協議事項

1. 地区別組合員懇談会の意見について
2. 第42回通常総会の対応について
3. 持続可能な北海道農業の確立に向けた組織討議(作目共通対策)原案に係るJA意見集約について
4. 熊本地震への対応について

4月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

4月分乳代支払単価

				単価	算出基礎	支払乳価	前年同期	差	項目	単価(円)/(kg)%
乳脂肪分				900.284		35.79	35.48	0.31	乳脂肪分①	35円79銭
無脂乳固形分				569.164		49.83	49.90	-0.07	無脂乳固形分②	49円83銭
補給金				4.9111		4.91	4.90	0.01	補給金③	4円91銭
計画チーズ奨励金				1.6559		1.66	1.70	-0.04	チーズ奨励金④	1円66銭
乳質単価	生菌数	ランク1	2	313,348,910.6kg	3.73	3.73	0.00	脂肪率	全道	3.98%
		ランク2	0	6,264,395.2kg				農協	4.08%	
		ランク3	-3	204,905.3kg				無脂固形分率	全道	8.75%
	体細胞数	ランク1	2	275,659,385.9kg				農協	8.70%	
		ランク2	1	23,644,872.6kg				成分乳価	全道	92円19銭
		ランク3	-2	3,453,210.2kg				①+②+③+④=⑤	農協	91円16銭
合計					95.92	95.71	0.21	乳質乳価⑥	全道 3円73銭	
									農協 3円77銭	
									乳代合計	全道 95円92銭
									農協 94円93銭	
									⑤+⑥	差異 -0円99銭

農業をもっと知ってもらうために

5月6日(金)食農教育補助教材を中春別小学校と野付小学校へ寄贈いたしました。

JAバンク食農教育応援事業の一環として、平成20年度から実施している全国の小学校5年生を対象に「農業とわたしたちの暮らし」とした教材とDVDの補助教材を寄贈いたしました。

私たちの生活に欠かせない食と農業、環境と農業のつながりを意識し、理解を深めることを目的に展開しており、子どもたちがより農業への興味を持つきっかけとなることを願っております。



農業への理解を深めてもらうために野付小学校へ寄贈してきました



中春別小学校へ訪問し「農業とわたしたちの暮らし」を寄贈しました

農作業事故防止に努めましょう!

【作業機を操作する場合】

農作業を安全に行うためには、日頃から安全意識を持ち、農業用機械・器具の日常点検や適正な操作を行い、安全な作業の実施を心がけることが必要です。

- 作業前に点検整備を行いましょう!
- 回転部等の整備は必ずエンジンを切って行いましょう!
- 異常等を感じた場合は、すぐに点検し、整備と周知を行いましょう!
- 不安定な場所、危険な場所へ作業機を動かさないようにしましょう!
- 作業予定を事前に確認し合い適正な労働配分に努めましょう!
- 緊急時に備え、家族や補助作業者にトラクターのエンジン停止方法や作業機械の動力遮断方法を周知して下さい。
- 近年は高齢者の農作業事故が全国で多発しています。自分では気付きませんが歳を取るにつれ、集中力、判断力は衰えている事を自覚して、作業機を操作しましょう。
- ケガをした際にすぐに人に助けてもらえるように、

常に携帯電話を所持しておきましょう。

【作業環境への配慮】

作業中に『ヒヤリ』と感じる事があると思いますが、この『ヒヤリ』の影に事故が潜んでいると言われていきます。危険な場所での作業は行わないようにしましょう。

作業員だけでなく周辺の子供等にも車両や作業機の下など危険箇所には近づかないよう徹底しましょう。

【ケガをしたら】

万一、ケガをしてしまった場合は速やかに病院に行きましょう。担当の医師に労災が使えるか必ず確認してください。労災対応の場合は、病院・薬局の会計時にその旨を伝え、料金を支払わないでください。

労災対応の場合は、受診した病院・薬局を必ずメモし、印鑑を持って農協の経営相談課までお越しになってください。

ケガをした日から数日経過してから病院に行くと**労災が適用されない場合があります。ケガをした**ら**すぐに病院に行きましょう!**



組合員の 広 場



作品名「夕日に萌える原野」by 岡林春男

今回の組合員の広場は岡林春男さんの作品を掲載いたしました。組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しております。営農振興課 丸山までお気軽にご連絡ください。



作品名「レンゲツツジ」by 岡林春男